

化学工学会新潟大会 2014 のご案内

化学工学会新潟大会実行委員会

2014 年度の化学工学会関東支部大会は例年の夏季と異なり、**11月に新潟にて**開催します。
下記の3シンポジウムその他、一般口頭発表やポスター発表(学生賞対象)の講演を募集いたします。
皆様のお越しをお待ちしております。



新潟大会ウェブページ

<http://scej.eng.niigata-u.ac.jp/>

| | |
|--------|-------------------------------|
| 開催期日 | 2014年11月22日(土)～23日(日) |
| 開催場所 | 新潟大学五十嵐キャンパス(新潟市五十嵐2の町8050番地) |
| 講演申し込み | 2014年7月25日(金)～8月25日(月) |
| 要旨原稿提出 | 2014年9月19日(金)～10月10日(金) |
| 予約参加登録 | 2014年9月19日(金)～10月20日(月) |

シンポジウム1 「環境調和型生産を支援する分離材料・分離プロセス」

(オーガナイザー) 新潟大・田中孝明 E-mail: tctanaka@eng.niigata-u.ac.jp

膜分離・濾過・遠心分離・蒸留・吸着・イオン交換・抽出などの分離プロセスは、高品位物質の生産・所要エネルギーの低減・廃棄物の削減によってグリーン・イノベーションを達成するためのキー・テクノロジーである。本シンポジウムは、分離材料の開発ならびに分離プロセスの現象解明・高度化を総合的に討論することを目的とする。

シンポジウム2 「材料の高機能化を志向した液相系微粒子形成プロセス」

(オーガナイザー) 鹿児島大・武井孝行, 新潟大・三上貴司 E-mail: mikami@eng.niigata-u.ac.jp

材料の形成メカニズムを明らかにし、そのメカニズムに基づいて材料を構築することで、多様な機能を有した材料設計およびその機能向上が可能となる。本シンポジウムでは、主に微粒子材料の形成とその機能付与について、議論を深めたいと考えている。微粒子材料のみならず、その特性を制御する上で不可欠な学術領域に携わる研究者、技術者の参加も歓迎する。

シンポジウム3 「化学工学教育におけるケーススタディ」

(オーガナイザー) 埼玉大・本間俊司, 新潟大・木村勇雄 E-mail: ikim@eng.niigata-u.ac.jp

各大学では、限られた時間の中でより大きな効果を上げるためにさまざまな工夫をしている。実験・演習・講義科目における工夫と効果に関する情報を共有し、化学工学教育のレベルアップに寄与したい。個人的な小さな取り組み、会社における社員教育、あるいは化学工学以外の分野からの参加も歓迎する。1件の持ち時間は19分で、その中で発表時間は12～15分から選択できる。

新潟大会 2014 全般のお問合せ先：

実行委員会 E-mail: scej@eng.niigata-u.ac.jp